



くすのき

白沢小ホームページ <http://www.ueis.ed.jp/school/shirasawa/>

児童の笑顔が溢れています。ぜひ、クリックして、ご覧ください。



白沢小学校長 石渡 美穂

「食農教育」を推進しています

「食農教育」とは子供たちが農作業を行い、自分たちが栽培・収穫した農作物を給食等において食べる取組を言い、農業や食への理解や関心を深めることを目的に進められています。

本校でも、全学年で「さつまいも」、5年生で「米」を栽培しています。10月30・31日に各学年で育ててきた「さつまいも」の収穫を行いました。今年度は、比較的大きく育てることができ、収穫した「さつまいも」を嬉しそうに見せる子供たちの姿がたくさん見られました。

実は、ここ数年、「さつまいも」がなかなか大きく育たず、苦慮していました。そこで、昨年度のうちに地域協議会で相談して、本校の学校業務担当者や機動班の手を借りて肥料を与えたり、今年度は子供たちの除草作業の期間を設定して、各学年で取り組んだりしました。また、PTA奉仕活動の際に、保護者の皆様にも、畑の除草作業にご協力をいただきました。土壌や天候も関係することなので、何が功を奏したのかは分からないのですが、全校児童が給食で食するのに十分な量が収穫できました。

そして、11月16日の給食で「さつまいもシチュー」が提供されました。クリームシチューの中に甘いさつまいもが入ったシチューです。子供たちは、大喜びでおいしそうにほおばっていました。さらに、今年度は豊作だったため、12月にも「さつまいもごはん」と「さつまいものあられ汁」が提供される予定です。

今後も、子供たちが植物の生長の様子を知り、収穫を喜び、食への感謝等を感じられるよう取組を進めていきたいと思っています。



校内ドッジボール大会を実施しました

11月15日と29日の休み時間を使って、校内ドッジボール大会が実施されました。体育委員会が企画・運営を担い、「クラスの皆で協力し、励まし合って活動すること」と「進んで運動しようとする意欲をもつこと」を目的に行いました。低・中・高学年ブロックごとに、クラス対抗のリーグ戦を行いました。みんなやる気満々で、楽しそうに活動していました。もしかしたら、ドッジボールが苦手な子もいたのかもしれませんが、そこは白沢の子供たち、誰かがみんなのために考えてくれた企画に則って、楽しむことができる心温かな子供たちです。それぞれのブロックで1位が決まりましたが、大事なことは「目的」を達成したかどうかです。体育委員の代表者が、そのことをしっかりと皆に伝えてくれていました。クラスの友達と協力し、運動を楽しむよい機会となりました。



➡ 裏面へ

小中学校が連携して活動しています

宇都宮市では、地域学校園で義務教育9年間を通した系統的な指導を行うため、小中学校が連携した取組を推進しています。食育や図書館教育、児童生徒指導等では、便りや掲示物で小中学生の間接的な交流を進めていますが、今回は、これまでに実施した直接的な交流をお知らせします。

少し前の話になりますが、9月5日に古里中学校の先生が来校し、6年生に英語の授業をしてくださいました。中学校の先生の見事な英語の発音に触れたり、中学校では授業の全てを英語で進めることを聞いたりして、子供たちはとても驚いた様子でした。しかし、授業を楽しく分かりやすく進めていただいたので、中学校の授業への期待も膨らんだようでした。

また、11月2日には古里中学校の生徒が40名ほど来校し「小中合同挨拶運動」を実施しました。大勢の中学生の堂々と挨拶する姿に一瞬たじろぐ児童も見られましたが、少し恥ずかしそうにしながらも小学生も挨拶を返すことができていました。中学生の自信に満ちた言動も小学生にはよい刺激になったようでした。



学校樹木の伐採

宇都宮市教育委員会から学校の樹木について、「近年、地球温暖化に伴う大雨や台風が増加傾向にあり、外観上、危険樹木と認識できない樹木における倒木や落枝の発生リスクが高まっていることから、専門業者による樹木診断を実施する」と通知があり、本校でも夏休み中に樹木診断が実施されました。その結果、本校では、「子どもの家」南側の桜の木（1本）と登り棒東側の栃の木（4本）を伐採することになりました。機動班に依頼し、作業を進めていただき、先日、伐採が完了しました。子供たちが切り株につまずかないように、少し高めに幹を残してあります。

伐採してみると、桜の木については、コンクリートや鉄筋で補強してきた痕跡があり、大切にしてきたことが分かりました。本校の歴史を考えると、今回伐採した樹木に、思い入れのある方もいらっしゃるかもしれません。安全確保のための措置であること、ご理解いただければと思います。



宇都宮市教育委員会の訪問がありました

宇都宮市教育委員会が4年に1度、学校経営の改善、教員の指導力の向上等を目的に、各学校で指導助言を行う「総合訪問」が11月24日にありました。30名ほどが来校し、1日かけて全教員の授業を参観し、指導助言をしてくださいました。また、各種書類の確認もしていただきました。様々な角度・視点から指導助言をいただきましたので、本校の教育について見直すことができました。これからも、よりよい学校づくりに向け、努力を続けてまいります。

